

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-102339

(P2003-102339A)

(43) 公開日 平成15年4月8日 (2003.4.8)

(51) Int.Cl.⁷

A 0 1 K 85/00

識別記号

F I

A 0 1 K 85/00

テマコード (参考)

Z 2 B 1 0 7

審査請求 未請求 請求項の数9 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願2001-337092(P2001-337092)

(22) 出願日 平成13年9月28日 (2001.9.28)

(71) 出願人 501229757

中村 修弘

千葉県市川市国分5-12-31-A棟

(72) 発明者 中村 修弘

千葉県市川市国分5-12-31 ガーデンヒルズA棟

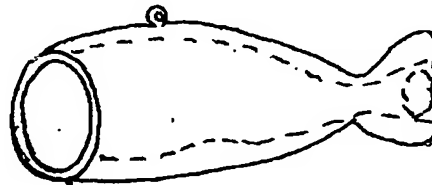
Fターム(参考) 2B107 BA42 BA70 BB10

(54) 【発明の名称】 メイファイブルアー

(57) 【要約】

【課題】ルアー本体にかかる水の抵抗を最小限にすると共に、動きをナチュラルにしてロットにかかる負担をなくし、小さい当たりを取れるようにする。

【解決手段】ルアー内部を筒状の空洞にして水が通り抜けるようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ルアー内が筒状の空洞になっていて水が通り抜けるようになっている。

【請求項2】筒状の空洞の部分の形状や穴の大きさなどは各ルアーの形状と特性によって異なる。

【請求項3】水取入れ口と排水口の穴の大きさは各ルアーの形状と特性によって異なる。

【請求項4】あらゆる種類のルアーの対応できる。

【請求項5】沈むタイプのルアーに関しては、本体を少し重たい素材で作ったり少量のウエイトで対応した。

【請求項6】浮くタイプのルアーに関しては、本体の外側と内側の間に空気層部分を設けて対応した。また、ディップ付きも作り沈むことも同時に出来るようにした。

【請求項7】バランスがとれにくいルアーに関しては、空気層やバランスウエイトなどを用いてバランスが取れるようにした。

【請求項8】ルアー内に筒状の空洞部分にラインを取り付けられるようにした。

【請求項9】水排水口が左右に切り替わって出来るようにした。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はつりの際に使うルアーの内部が筒状の空洞になっていて、水が通るものである。

【0002】

【従来の技術】従来のルアーは水が内部に入らないように出来ていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のルアーは、水が内部に入らないように出来ており、密封された内部には空気が入っている。そのため水底に沈めるバイブレーションなどのルアーはかなり重たくしないと沈まなかった。また、ディップが付いていて沈むクランクベイトや浮いたままのペンシルなどは、軽いバルサ材や空気など

が入って浮くように作られていた。形が多きいものは、水の抵抗がありすぎて魚の小さいあたりが取れにくく動きも不自然な動きであった。

【0004】

【課題を解決するための手段】ルアー内部を筒状の空洞にして水が通り抜けられるようにした。そして水面に浮かせる、沈める等を用いる浮く素材や空気質、重たい素材やウエイトも少量ですむようになった。

【0005】

10 【発明の実施の形態】本発明はルアー内部を筒状の空洞にして水が通るようにしたものである。

【0006】

【実施例】実施例について図面を参照して説明すると、1～3の点線部分は空洞になっていることを示している。1はバイブレーション系で水面に沈むタイプであり、内部の空洞の点線部分とボディーの間に空気質やバランスウエイトを付けたりする。2はクランクベイト系で水に浮いているタイプであり、ディップの力により沈むタイプである。3はペンシル系で水面に浮きっぱなしのタイプでありボディーは浮く素材や空気層がある。

【0007】

20 【発明の効果】ルアー内部を筒状に空洞にし水が通り抜けるようにしたことにより、ルアー本体にかかる水の抵抗を最小限にした。したがってより大きいルアーを付けることも可能になった。水面下での敏速な動きも可能になった。このことにより、水に浮かせたり沈めたりするのに用いる。ウエイトや空気層、バルサなどの素材を少量で出来るようにした。このためルアー本体がよりナチュラルに動くようになり、ロッドに伝わる抵抗も少なくなり、魚の小さいあたりも出るようになった。

【図面の簡単な説明】

【図1】バイブレーション系空洞ルアーの図

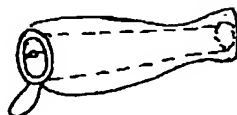
【図2】クランクベイト系空洞ルアーの図

【図3】ペンシル系空洞ルアーの図

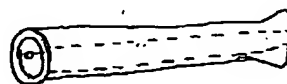
【図1】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP02003102339A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003102339 A
TITLE: MAY FIVE LURE
PUBN-DATE: April 8, 2003

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
NAKAMURA, SANEHIRO

COUNTRY
N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME
NAKAMURA SANEHIRO

COUNTRY
N/A

APPL-NO: JP2001337092
APPL-DATE: September 28, 2001

INT-CL (IPC): A01K085/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To minimize the resistance of water to the main body of the lure and naturalize the movement of the lure to reduce resistance added to the lot and detect a small bite.

SOLUTION: A cylindrical hollow is formed in the lure to permit the passage of water.

COPYRIGHT: (C) 2003, JPO

DERWENT-ACC-NO: 2003-325346

DERWENT-WEEK: 200331

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Lure for fish has lure main body in which
inside portion is formed with cylindrical cavity which
provides water passage

PATENT-ASSIGNEE: NAKAMURA N[NAKAI]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0337092 (September 28, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2003102339 A	April 8, 2003	N/A
002 A01K 085/00		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2003102339A	N/A	2001JP-0337092
September 28, 2001		

INT-CL (IPC): A01K085/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003102339A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The inside portion of lure main body is formed with a
cylindrical
cavity which forms water passage.

USE - For fish.

ADVANTAGE - Allows effective application of the lure due to the
formation of
the inside portion of lure main body.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the explanatory drawing
of the
lure.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

TITLE-TERMS: LURE FISH LURE MAIN BODY PORTION FORMING CYLINDER CAVITY
WATER
PASSAGE

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-260548